

2019年度 女子美院 インタラクティブ空間演習 前期課題について (博士前期課程)

課題 「前期演習で講読した論文を要約せよ。また内容において検討の余地がある点を(簡単に)指摘せよ」

- ・ レポート内容の配分は「要約」が8割程度、「検討の余地がある点の指摘」が2割程度を目安に記述すること。
- ・ 今回の「検討の余地がある点の指摘」(批判的検討を要する内容の指摘)は、レポート末尾で短く指摘する程度でもよい。つまり論点を指摘のうえ、その理由を1文程度で述べる具合でもよい。
- ・ 引用部分は「」でくくるか「ブロック引用」を用い、かならず出典註をつけること。
- ・ ポール・グライス(Paul Grice)、「語用論」(pragmatics)、「協調の原理」(cooperative principle)に関しては、他資料にあたって上で詳述することが望ましい。この話題については、渡辺論文に記述されていることを超える内容に触れていても良い。ただし使用した資料がわかる出典註をつけること。
- ・ 文字数は目安として3000字程度(A4で3枚程度)。ただし文字数が3000字より多い分には制限しない。
- ・ 「である調」で記述すること。また、接続詞を意識して記述すること(そして、しかし、なぜなら、つまり、たとえば、等)。
- ・ 提出された全レポートは冊子にまとめた上で、後期に配布する。後期の最初にレポート内容の検討を行う予定。

- 提出体裁 : ワードソフトなどで執筆し、それをPDFファイルで保存して提出すること。
- 提出方法 : レポートのPDFファイルをメールに添付の上、下記メールアドレスまで送信。
- 締め切りの日時 : 2019年9月16日(月)23:59まで(提出者には「受理確認メール」を翌日までに返信する)
なお、締め切り日以前ならば、いつでも課題送信を受け付ける。その場合も翌日までに確認メールを返信する。
- 文字数 : 目安としては3000字程度だが、多い分には制限はない。
- メール件名 : 「女子美院インタラクティブ空間演習前期レポート2019」 (件名厳守のこと)

提出先メールアドレス (石井 拓洋)

takuyo.ishii@gmail.com